

指導者養成研修事業

幼児期における自然体験活動指導者研修会

1 ねらい

保・幼・小の保育士や教員を目指す学生が、幼児期からの自然体験活動の意義を体験的に理解する中で、自らの資質向上を図る。富山大学・富山福祉短期大学と連携しながら、同時期に開催している幼児キャンプの参加者と直接かかわり合う機会を設け、幼児の自然体験活動推進のための研修を行う。

2 期日

令和元年11月1日（金）～3日（日・祝）2泊3日

3 対象

保・幼・小の保育士や教員を目指す
富山大学・富山福祉短期大学の学生

4 参加人数

50名（富山大学13名、富山福祉短期大学37名）

5 講師・スタッフ

富山大学人間発達科学部	名誉教授	松本 謙一	先生
富山大学人間発達科学部	教授	小林 真	先生
富山大学人間発達科学部	准教授	若山 育代	先生
富山福祉短期大学幼児教育学科	講師	岡野 宏宣	先生
富山福祉短期大学幼児教育学科	講師	藤井 徳子	先生
富山福祉短期大学幼児教育学科非常勤講師		高見 泰子	先生

国立立山青少年自然の家職員



6 後援

富山県教育委員会、富山県国公立幼稚園・こども園長会
富山県私立幼稚園・認定こども園協会、富山県保育士会
富山県民間保育連盟

7 日程

	午前	午後	夜
11月1日(金) 1日目			開講式 実習：アイスブレイク・星の観察
11月2日(土) 2日目	実習：テーマを基にした遊び体験	実習：自然体験におけるリスクマネジメント	講義：幼児期の自然体験と指導者の働きかけ
11月3日(日) 3日目	実習：テーマを基にした遊び体験	講義：自然体験と教育要領のつながり 閉講式	

8 参加者からの感想

- 日常生活では、自然の中で活動することはほとんどないので、ここでしかできない自然体験活動を楽しむことができた。
- 森の中で遊んだり登山をしたりすることで、自然体験活動の楽しさが学ぶことができた、この楽しさを子供たちに伝えられるようにしたい。
- 両大学の学生が、交流を深めながら共に活動したことは、今後の保育への視野を広げる上でよい刺激となった。

9 成果

- 講師が事前検討を重ね、施設周辺の自然を生かした研修内容を企画された。受講生は、自然の様々な楽しみ方を学び、子供たちに自然体験活動の楽しさを伝えたいという意欲をもつ契機となった。

10 今後の課題

- 受講生の実態に応じて、研修内容が柔軟に対応できるように幅をもたせることも必要である。